推　薦　書

見 本

令和　　　年　　　月　　　日

産業医科大学長　殿

　　推薦者（所属）

　　　　　（職名）

〔自署・押印のこと〕（氏名）　　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞

* ○○○君（氏、先生）は、……………

　クリップで

　綴じること。

　ホッチキスは

　不可。

見 本

教 員 個 人 調 書

　　　　　　　　　（１）　履歴書

　　　　　　　　　（２）　教育研究業績書

氏　名　　　産　業　　　学

注）上記のとおり、教員個人調書の表紙を必ず作成のこと。

1. 表紙、②履歴書、③教育研究業績書を作成のうえは、左上端をクリップで綴じること。

ホッチキスは不可。

履歴書の記載要領

　別紙の記載例に従って、パソコン（MSワード2010以上）を使って作成して下さい（氏名の

　自署部分を除く）。用紙の規格は、次のとおりとします。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| Ａ４版用　紙 | 上余白 | ３０ｍｍ程度 | 　フォントサイズは、１０.５ポイント |
| 下余白 | １０ｍｍ程度 |
| 左余白 | ３０ｍｍ程度 |
| 右余白 | １０ｍｍ程度 |

　記載にあたっての注意事項は次のとおりです。

　① 氏名等について

　　・氏名には、平仮名で、ふりがなを付ける。

　　・記載時現在における年齢を記載する。性別も併せて記載する。

1. 学歴について

　　・高等学校入学から記載する。

　　・大学は、学部名、学科名を記載する。

* 大学院は、研究科名、専攻名、課程名を記載する。
* 研究生等の研究歴を記載する。
1. 免許・資格について（医師等の免許証の写しを添付する。）

　　・認定医、専門医、産業医等の資格についても記載する。

* 本学産業医学基本講座修了については、認定年月をこの欄に記載する。

　　（修了認定の年月については、修了認定書(ディプロマ)を確認のうえ、記載する。）

1. 学位について（学位記の写しを添付する。）

　　・修士以上の学位について、記載する。

* 授与された大学名、授与年月日および学位記番号を記載する。
1. 職歴について

　　・海外留学（外国の大学等で研究に従事）は、職歴欄に記載する。

　　　なお、外国の大学院等に在学し、博士等の学位を取得した場合は、学歴欄に記載する。

履　歴　書

写真添付

縦　4cm

横　3cm

ふりがな　　　さんぎょう まなぶ

氏　　名　　　産　業　　　　 学

生年月日　　　昭和○○年○月○日（○○歳）　男

現 住 所　　　〒８０７－８５５５　北九州市八幡西区医生ケ丘１－１

　　　　　　　TEL　０９３（６０３）１６１１

　　　　　　　E-mail：jinji@mbox.pub.uoeh-u.ac.jp

学　　歴

　昭和○○年　○月　　福岡県私立○○高等学校入学

　平成○○年　○月　　同上卒業

　平成○○年　○月　　○○大学医学部医学科入学

　平成○○年　○月　　同上卒業

　平成○○年　○月　　○○大学大学院医学研究科○○系専攻博士課程入学

　平成○○年　○月　　同上修了

免許・資格

　平成○○年○○月　　第○回医師国家試験合格　医師免許証（医籍登録第○○○○号）

　平成○○年○○月　　○○○○大学○○○○基本講座修了認定（第○○号）

　平成○○年○○月　　日本○○学会認定○○科認定医（認定番号：○○○）

学　　位

　平成○○年○○月　　博士（医学）の学位授与（産業医科大学　博医甲第○○号）

職　　歴

　平成○○年○○月　　○○大学病院 産業医学修練医（臨床研修医）に採用

　　　　　　　　　　　（産業医修練コースⅡ　○○科）

　　　　　　　　　　　　　　　　△△病院へ出向（平成○○年○○月～平成○○年○○月）

　平成○○年○○月　　○○大学病院 産業医学修練医（専門修練医）に採用

　　　　　　　　　　　（産業医修練コースⅡ　○○科）

　平成○○年○○月　　同上辞職（産業医修練コースⅡ修練期間満了による）

　平成○○年○○月　　○○労災病院 医師に採用

　平成○○年○○月　　同上辞職

　平成○○年○○月　　○○株式会社 産業医に採用

　平成○○年○○月　　同上辞職

　平成○○年○○月　　産業医科大学 助教（医学部○○○○学）に採用

　　　　　　　　　　　　　　　　　　現在に至る

所属学会及び社会における活動等

　平成○○年○○月　　日本○○学会

　平成○○年○○月　　日本○○学会雑誌編集委員会委員

　平成○○年○○月　　厚生労働省○○審議会委員（～平成○○年○○月）

賞　　罰

　なし

—————————————————————————————————————————————

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　上記のとおり相違ありません。

　　令和　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　　名　　（必ず自署し、押印のこと）　㊞

教育研究業績書の記載要領

　別紙の記載例に従って、パソコン（MSワード2010以上）を使って作成してください（氏名の

　自署部分を除く）。用紙の規格は、次のとおりとします。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| Ａ４版用　紙 | 上余白 | ３０ｍｍ程度 | 　フォントサイズは、１０.５ポイント |
| 下余白 | １０ｍｍ程度 |
| 左余白 | ３０ｍｍ程度 |
| 右余白 | １０ｍｍ程度 |

　記載にあたっての注意事項は次のとおりです。

1. 表紙として「教育研究業績書内訳」を作成すること。
2. 以下の区分で、別葉として発表年順に記載し、それぞれ一連番号を付すこと。学位論文には◎

　　印を、自薦の主要論文（１０編）には○印を付し、その両者については、雑誌等の次の行から

　　論文要旨（日本語で200字程度）を記載すること。また、印刷中の論文については、その旨を

　　記載し、掲載受理証明書（写）を添付すること。

　Ⅰ　著　書

　Ⅱ　総　説（欧文は2019年6月発表の2019年版Journal Citation ReportsのImpact Factorを各論文の最後に記載してください）

　Ⅲ　原　著（欧文は2019年6月発表の2019年版Journal Citation ReportsのImpact Factorを各論文の最後に記載してください）

　Ⅳ　報告・その他（欧文は2019年6月発表の2019年版Journal Citation ReportsのImpact Factorを各論文の最後に記載してください、査読を受けた論文のみ記載してください）

　Ⅴ　学会発表　　　特別講演、シンポジウム等国内、国際学会発表のうち、主要なもの

　Ⅵ　学術研究費の交付、特許取得など　　研究課題、年度、交付機関名および代表・分担の区別

　Ⅶ　研究業績一覧表

　なお、記載にあたっては、それぞれの項目の記載例にならってください。

　著書名（全員）、論文タイトル、雑誌名等は、それぞれ改行してください。また、本人名の下には

アンダーラインを引いてください。

　外国雑誌の略名は、List of Serials Indexed for Online Users(National Institutes of Health,

National Library of Medicine)に準じてください。

教育研究業績書　内訳

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　　年　　月　　日

氏　　名　　（必ず自署し、押印のこと）　㊞

Ⅰ　著　　書　　　　　○○編（欧文　○○編、筆頭者○○編）

（和文　○○編、筆頭者○○編）

Ⅱ　総　　説　　　　　○○編（欧文　○○編、筆頭者○○編）

（和文　○○編、筆頭者○○編）

Ⅲ　原　　著　　　　　○○編（欧文　○○編、筆頭者○○編）

（和文　○○編、筆頭者○○編）

Ⅳ　報告・その他　　　○○編（欧文　○○編、筆頭者○○編）

（和文　○○編、筆頭者○○編）

Ⅴ　学会発表　　　　　○○編（国際学会　○○編、筆頭者○○編）

（国内学会　○○編、筆頭者○○編）

Ⅵ　学術研究費の交付、特許取得など　　○○件

Ⅶ　研究業績一覧表

教育研究業績書

Ⅰ　著　　書（欧　文）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名　　産　業　　　学

—————————————————————————————————————————————

　１　Sangyo M:

　　　Handbook of Neurosurgery．

　　　Neurosurgical Review,　Hundsfield H ed，Health Publication Ltd：pp21-28，2000

　２

　３

　４

教育研究業績書

Ⅰ　著　　書（和　文）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名　　産　業　　　学

—————————————————————————————————————————————

　１　産業　学:

　　　脳神経外科臨床診断．

　　　脳神経外科学体系,　木村一郎編，山川出版：21-28頁，2000

　２

　３

　４

教育研究業績書

Ⅱ　総　　説（欧　文）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名　　産　業　　　学

—————————————————————————————————————————————○１　Sangyo M, Asakawa J:

 Surgical treatment for trigeminal neuralgia.

 Neurosurgery 58:23-27, 2000 (IF: )

　２

　３

　４

教育研究業績書

Ⅱ　総　　説（和　文）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名　　産　業　　　学

—————————————————————————————————————————————

　１　産業　学，浅川二郎：

　　　脳神経外科領域における細菌検査の意義．

　　　日本脳神経外科学会誌21：83-86，2000

　２

　３

　４

教育研究業績書

Ⅲ　原　　著（欧　文）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名　　産　業　　　学

————————————————————————————————————————————

○１　Sangyo M, Asakawa J:

 Serum adenosine deaminase activity in the differentiation of brain tumor.

 J Neurosurgery 58:23-27, 1993 (IF: )

　２

◎３

　４

教育研究業績書

Ⅲ　原　　著（和　文）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名　　産　業　　　学

—————————————————————————————————————————————

　１　産業　学，浅川二郎：

　　　神経芽細胞腫における遺伝子多型．

　　　日本脳神経外科学会雑誌21：83-87、2000

　２

◎３

　４

教育研究業績書

Ⅳ　報告・その他（欧　文）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名　　産　業　　　学

—————————————————————————————————————————————

　１　Sangyo M, Asakawa J:

 Severe subarachnoid hemorrhage in early pregnancy: a case report.

 J Emerg Med 45:23-26, 2003 (IF: )

　２

　３

　４

教育研究業績書

Ⅳ　報告・その他（和　文）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名　　産　業　　　学

—————————————————————————————————————————————

　１　産業　学，浅川二郎：

　　　異所性下垂体腺腫の1例．

　　　日本脳神経外科学会雑誌21：83-85、2001

　２

　３

　４

教育研究業績書

Ⅴ　学会発表（国際学会）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名　　産　業　　　学

————————————————————————————————————————————

　１　Sangyo M，Asakawa J：

　　　Weekly and seasonal variation in frequencies of occurrence of sudden deaths among

　　　Japanese workers.

　　　The 10th International Conference on Neurosurgery, Seattle, USA, 2000

　２

　３

　４

教育研究業績書

Ⅴ　学会発表（国内学会）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名　　産　業　　　学

—————————————————————————————————————————————

　１　産業　学：

　　　新生児期におけるけいれん発作

　　　第50回　日本脳神経外科学会、シンポジウム「新生児期の患児マネージメント」、北九州、2000

　２

　３

　４

　５

教育研究業績書

Ⅵ　学術研究費の交付、特許取得など　　　　　　　　　　　　　　　氏　名　　産　業　　　学

—————————————————————————————————————————————

　１　科学研究費補助金　○○研究　　課題番号○○○○○○○

　　　○○年度～○○年度

　　　研究課題：○○○○○○○について

　２

　３

　４

　５

教育研究業績書

VII　研究業績一覧表　　　　　　　　　　　　　　　氏　名　　産　業　　　学

—————————————————————————————————————————————

全ての業績

総説

Impact Factor 総得点　　 ○○点

 筆頭著者Impact Factor ○○点

 第2著者Impact Factor ○○点

 Corresponding author Impact Factor ○○点

原著

Impact Factor 総得点　　 ○○点

 筆頭著者Impact Factor ○○点

 第2著者Impact Factor ○○点

 Corresponding author Impact Factor ○○点

報告・その他

 Impact Factor 総得点　　 ○○点

 筆頭著者Impact Factor ○○点

 第2著者Impact Factor ○○点

 Corresponding author Impact Factor ○○点

最近の５年間（2015年以降）

総説

Impact Factor 総得点　　 ○○点

 筆頭著者Impact Factor ○○点

 第2著者Impact Factor ○○点

 Corresponding author Impact Factor ○○点

原著

Impact Factor 総得点　　 ○○点

 筆頭著者Impact Factor ○○点

 第2著者Impact Factor ○○点

 Corresponding author Impact Factor ○○点

報告・その他

 Impact Factor 総得点　　 ○○点

 筆頭著者Impact Factor ○○点

 第2著者Impact Factor ○○点

 Corresponding author Impact Factor ○○点